エレナ・レーリヒの手紙

1929年12月17日

あなたがたのために、『無限』の本のページから引用します。そこに書かれてある宇宙と人間の七つの現れの精密な類似は、出来事の重大さについてもう一度じっくり考える手助けとなるでしょう。

「緊張状態にあるときだけ、そしてすべての弦が振動している時だけ、宇宙の仕事を実現することができる。仕事が緊張の形式を帯びる時にのみ、運命づけられたことは起こり得る。宇宙の基礎（複数）がそれら自身の引力によって天空を支える時、天空は持ち堪えることができる。しかし基礎が相互の引力を妨げる時、天空のドームはアンバランスな振動の影響を受ける。このようにして、基礎はその仕事を支持することも破壊することもできる。基礎は常に、最も多様なエネルギーを1つに結びつけることができる。宇宙は極性に従ってエネルギーを向ける。陰と陽は結合の現れをもたらす」。

上記に述べられたことの深さをじっくりと考えて、あなたがたの相互の引力を妨げないでください。基礎を揺るがすことを呼び起こさないでください。震動の結果をどうやって推定できますか？ 部分的な爆発で新しい基盤を慎重に建設することができますが、多くの場合、たった1つの爆発の力で最も近い炉床の数々が爆破されます。いたるところに類似性の偉大な法則があります。

また、「有益なエネルギーを蠍の入った壺に変えるのを避けよ」ということを忘れないでください。可能性はずっと前に予見され、警告は送られました。指示を適用する方法を学びましょう。現在の深刻さの考えを持ちましょう。軽率さはどれも、罪悪の境界のものです。

限定的な「私」という概念を、有力で創造的で喜ばしい「私たち」に取り替えると、霊のあらゆる可能性と富が無限に開花するでしょう。私たちの力は非常に増すでしょう。人々は「私たち」という概念を恐れます。「私たち」という概念が未知のものであり、そのために脅威を感じる場合、「私」という概念をいつでもチェックするといいです。

大昔に予言された素晴らしい時代が来ました。あなたは宇宙的そして人間的爆発のすべての緊張の中でそれを感じませんか？ 地表は震え、大きな変化が近づいています。今回は比較的無害な彗星の尾ではなく、より高い火的エネルギーの接近のために私たち自身から放射されるものが、予期せぬ変化を引き起こすかもしれないか、あるいは実際引き起こすでしょう。そのような変動の間「ドゥッカーの傘」（＊注）の下で、示された堅固な岩の上にいると良いです。私たちの仕事はすべてこの傘の覆いの下でその場所があるでしょう！ もう1つ、教えの指示です。

「君が新しい1歩を創造する時、天王星が第六人種を集めている時、断言された素晴らしい時代に満たされることが必要である。そして妨げとなる心配するということを、すべて捨てるべきである」。

すべての愛する、霊において近しい者たちを歓迎しなければなりません。ですが、すべての破壊者たち、分裂をもたらす者たちは、追い払うか彼らの場所に置かなければなりません。私たちは自己発展のためではなく、個人の自我のためではなく、大いなる公益のために働き、そして創造するのです。

ですから、前例のない、美しくそして険悪な時を思い出してください。1分も無駄にするべきではあるません！ あなたの霊の力すべてとの団結を強めなさい。そして「私」という矮小な概念をごく厳しく追放しなさい。

みなさんに私のハートのすべての弦を送ります。みなさんは１人１人、反響する１つの弦を見つけましょう。

＊＊＊

＊注　「ドゥッカー」は多くの目と多くの腕を持つ、チベットの女性原理の神。この女神は、「世界の母」のシンボルであるヒンドゥー教のカーリーとラクシュミーに相当する。いつもチベットのタンカ（宗教絵巻）に、傘の下に描かれている。その傘は、集めた最高の至福の滴を象徴している。